

# 老眼をパソコンでたのしむ

小川 義博

20 数年前、年に数回になってしまったストックブックを開いたとき、それまでは苦もなく読めていたオーストリア切手の下に印字されている彫刻者の氏名の文字がかすんで読みにくいの気づき思わず目をこすり、愕然とした。初めて、自分の老いの始まりを実感したのである。以来、それまでも増して切手を整理することが億劫になって定年を迎えた。

多少、時間ができ、箱にしまいこんであった切手を整理しようとルーペ、ネガ用高倍率ルーペなどで眺めて、改めて凹版切手の美しさと奥深さを感じた。しかし、切手全体を拡大するには無理があり、しかもアルバムにその凹版の彫りの説明と図も載せたくなくなった。自ずと文書作成に使用していたパソコンの活用へと繋がって切手をパソコンで楽しむことになった。

切手を扱うにはデジカメでなくスキャナーが当然便利である。種々の切手サイズにあったA4版までの黒い切手フォルダーを使用すれば手間がかからずに倍率を変えて一度に多くの切手の画像が得られる。簡単に画像が得られるのを幸いに多くの切手のスキャンし画面を楽しんでみて痛切に感じるのは凹版切手の味わいの深さであり、その芸術性の高さである。特に、オーストリア、スウェーデン。チェコの凹版切手はパソコン画面でその味わいをさらに楽しませてくれるが、年々、その凹版が多色になってくるのが気がかりである。これは長年、オーストリア切手を集めていて感じてきていることだが、オーストリア切手がかっての品格を徐々になくしてきていることが残念でならない。しかし、これとて日本切手と比べればはるかにうらやましいと感じている。この差はデザイナーと彫刻家をどのように遇しているかによると感じる。凹版の美しいこれらの国は切手印面の外に彫刻家とデザイナーの名を小さく印刷している。オーストリア切手では印面下左側にデザイナー、右側に彫刻者の名が記されている。「大蔵省印刷局」

でなく、切手を芸術作品として作り上げた個人の名がそれぞれの切手に記されている。切手制作への思いが自然と異なってくるのは当然であろう。このような切手制作環境のもとであれば、芸術性の高い切手が多く発行されてくるのも理解できる。オーストリアでは1960年代のA.PlichのデザインとR.Tothの彫刻による数多くの美しい切手(図1)、スウェーデンではポーランドから移り10数ヶ国1000種類を越える切手を彫ったC.Slaniaのような著名な彫刻家を輩出している。(図2) これら製作者の切手はテーマ別収集の対象にもなっている。このような切手をアルバムアレンジするとき通常のアльバムの作成ではなく切手の印面を拡大して表示したいという思いが生じる。



図1 1967年発行A.PlichのデザインとR.Tothの彫刻による森林学術調査100年記念切手。山並みとイタリアカラカサマツを濃緑色1色の凹版で描く。



図2 1979年スウェーデン発行 Slaniaが彫った自国で約224番目にあたるイエーター運河観光切手 観光船JONO号とブレンスフルト水門を各々、青、緑1色の凹版で描く。

全画面を使用して切手の注釈に使用する以外に、部分的に画像を目的に合わせて倍率を変化させて取込んでみると、アルバム作成に幅がでて魅力あるページが期待できる。特に、印刷技術面への説明には不可欠な図面作成に効果を発揮する。図3は図2と同一観光切手の木製水門と波紋を拡大して説明するための図である。また、変種、エラー、隠し文字などもこの方法で倍率を大きくして取込むと意外と鮮明に画像が得られて、ページ作成に奥行きを持たせることができる。幾つか試みたのが図4、5のような画像である。

このような老眼を生かした作業の機器環境に関しては入力のスキャナーよりも出力のPRINTERの方を重視する必要がある。スキャナーは4倍程度まで拡大機能と解像



図3 部分拡大  
年輪、木肌、波紋を見事に描写している凹版の彫りを見事さ。

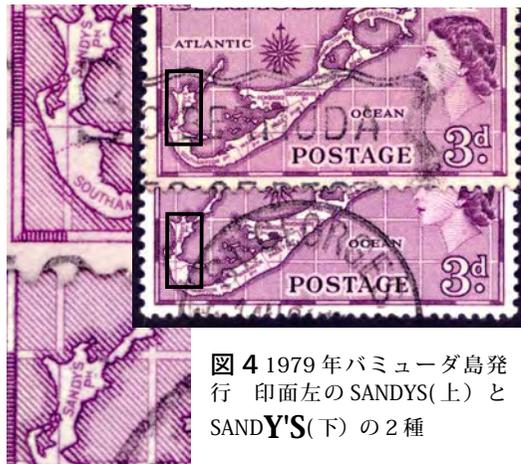


図4 1979年バミューダ島発行 印面左のSANDYS(上)とSANDYS(下)の2種

度は600dpi程度あれば十分と考える。経験上、切手のように細かいものを拡大する場合は機器の性能もさることながら切手をしっかりとスキャナーのガラス面に押し付けることの方が大切だと感じる。通常、機器の耐えうる2kgの鉄アレーをのせている。出力の方はやはり解像度が高いプリンターが望まれるが紙質でかなり差が生じてしまうことを経験してアルバム用紙の選択が難しい。

このように切手の印刷という面に視点を置いてアルバムを作成していると、印面のサイズ、彫りの間隔のサイズを測定するという老眼にとってはさらに贅沢な希望が生じてくることとなった。



1966年スウェーデン発行国立博物館100年記念切手の白線四角内に女性スカート裾に妹LODZIAの文字を彫った。下 1973年スウェーデン発行ダレカリア地方観光切手バサ・スキーレースに自画像を彫った。ゼッケンにはこの切手を彫り終わった1972年クリスマスイブを表す"J.AFTON 1972"と彫られている。この他にも知



人2人の姿が彫られている。SLANIAのこのような隠し彫りはSLANIAの彫った全ての切手とともに下記のアドレスのHOME PAGEに詳しく載っている。  
<http://www.xs4all.nl/~pkv/slania/index2NoJava.htm>

図5 前述 彫刻家 SLANIA の切手に隠したもの

ここでも、有効なのがスキャナーと画像処理ソフトの活用である。事前に2倍、4倍等で必要な尺度範囲を定規画像として取込んで縦、横に整えそれぞれレイヤーとして黒色

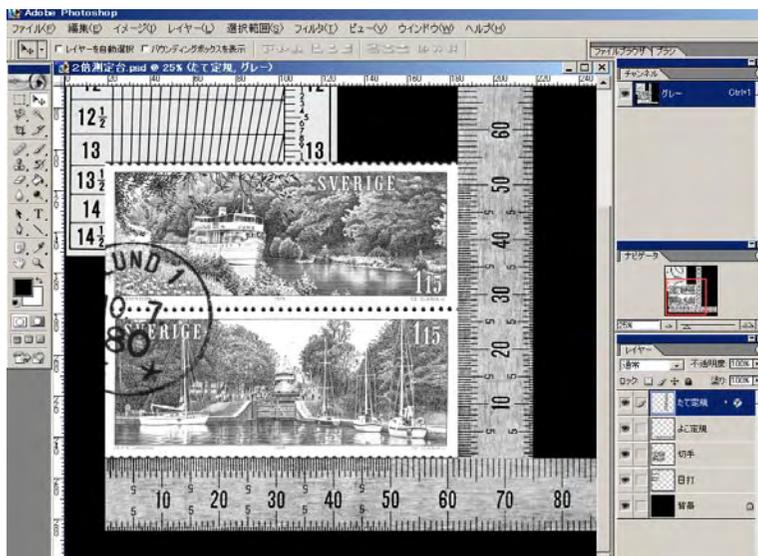


図6 2倍測定 FILE の画面

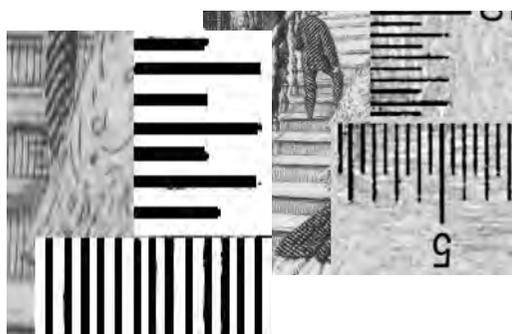


図7 隠し文字部分の拡大

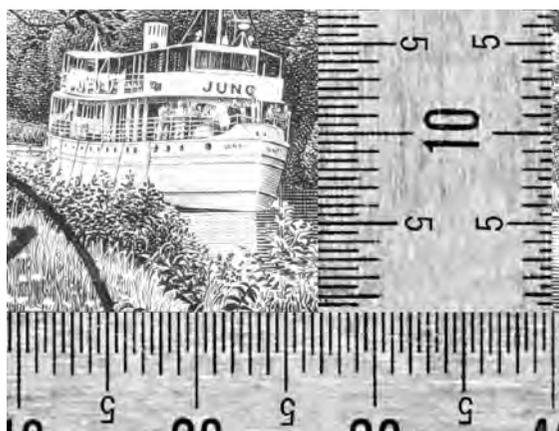


図8 イェータ運河切手の凹版拡大図

背景の画像 FILE に貼り付け、2倍測定、4倍測定 FILE として準備しておく。(レイヤーとは動画を作るとき透明素材に画像を描きそれを動かして映像を作成するセルのようなもの)

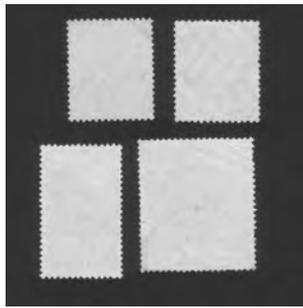
の) PC 画面にマウスの動きで縦横に動く T 定規が用意され、そこに同じ倍率で取込んだ対象とする切手をレイヤーとして貼り付ける。後は サイバー T 定規を縦横に動かし目的の箇所を測る。これで所期の事柄の半分ははかなえられたが、角度をおいた測定に少し手間がかかり、課題である。

更に、残念であるが、凹版をルーペで覗いたとき

に見ることができるインクの盛り上がり、インクの光かがやきをスキャナーで再現することは不可能である。これはデジカメでの挑戦という新たな楽しみを残してくれている。

次に、思いついたのが目打ちゲージのレイヤーへの組み込みである。レイヤーの重ねる順番を変化させることでこの目的も達成できるようになり、切手を楽しむ幅が広がり、あまり行ったことのない目打ちをはかることも目打ちゲージをレイヤーとして前述した測定 FILE に取込んでおくことで容易になり国による目打ちの相違など今まで気に留めなかったことにも面白さを見出ししている。

実際の PC 画面を示すと図6のようになる。この画面上に目的の切手を貼りこみ作業目的にあったレイヤーをクリックし目的の場所にドラッグして測定する。切手全体でなく部分的に作業したい場合には対象部分だけを取込みそれを同じくこの FILE 画面に張り込めばかなり細かいものまで測定できる。前述した Slania の妹の名前の大きさを測定すると図7のような画面から幅 2 mm、高さ 1 mm の中に彫



上2枚日本切手 W1、  
下2枚インド星型すかし切手

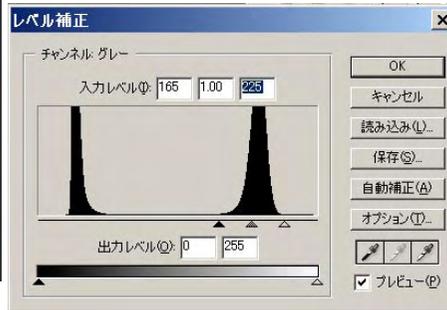


図9 補正前の切手裏面とヒストグラム

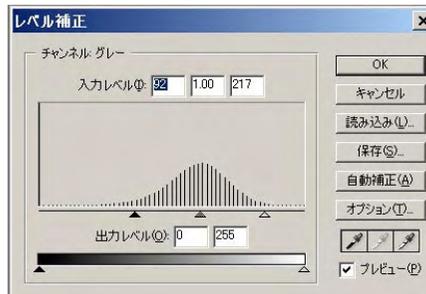
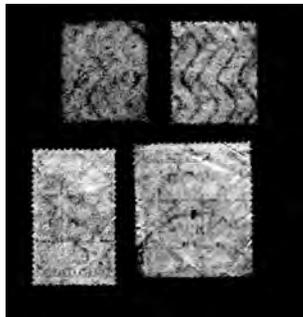


図10 補正後の切手裏面とヒス

トグラム  
られていることが老眼でも明らかにできる。また、凹版の彫りの細かさを見たいとき図1の目的場所を拡大表示で見れば図8のように一目瞭然、老眼でも1mmに4本の彫りが見られることが容易にわかる。

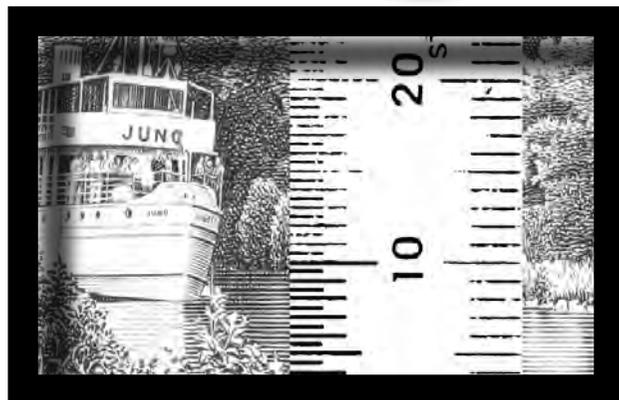
印刷、目打ちに老眼でも楽に取り組めるようになって最後に残ったのがすかしである。液体に浸したり、光にすかすこと以外にこのPC使用の延長線ですかしの楽に判断できないかということである。これはかなり切手により差がありうまい方法は見つからなかったが、一番汎用性があると判断できた方法は画像編集ソフトの2種類の露出調整機能を使用することであった。まずレベル補正機能である。切手の裏面を普通に取込むと通常は図9にしめす画像

図11 拡大図を効果的に表現

図形との組合せて

ルーペ使用を再現

のように2つの山を持つヒストグラムが示される。この左の山は黒い背景のものなので無視して黒のスライダーを切手を表す右の山の端まで動かすと図10のようにすかしが浮かび上がる、黒、白のスライダーを動かして最もはっきりしたところで決定する。これは1つの山のヒストグラムを示す画像である。あと必要があればトーンカーブを調整する。すかしについてはいろいろ試みたが難しいことが多いようである。ぬらしてスキャンしてもまったく期待はずれ、切手の色を考慮し地紙を当てて



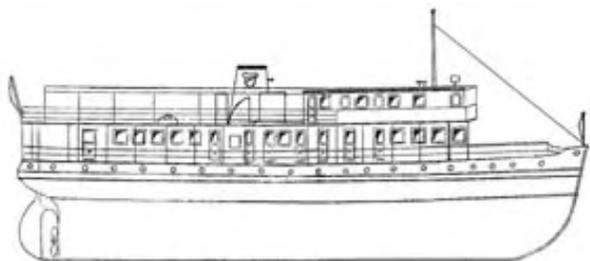
もうまく行かず、フィルムスキャンでやって見ると未使用もしくは消印の薄いものであれば時に判別できる画像が得られる程度であった。

次に問題はどのように切手を細かく画像処理して得られたものをただ並べるだけでなく、どのように美しくアルバムに取込むかが最後の課題となる。拡大図、すかし、目打ちでもアルバムに添付した切手自体から取込んだものであることを一目で印象付けられるように、使用済み切手の消印の利用価値が増してくるよう考える。最近のプレゼンテーションソフト、DTP ソフトを活用するといういろいろ自己満足的に浸れる表現でアルバムを構成できる。図 11 は前述してきた内容をアルバムに表現する場合、このような遊び心でアルバム作りを楽しめるという愚例である。

最後に 切手の説明内容の充実にもパソコンでインターネットが当然活用できる。特に、

#### Facts about the Gota Canal boats

	Juno	Wilhelm Tham	Diana
Built	1874	1912	1931
Registration no.	1840	5359	7740
Signal letters	SFCD	SHIG	SDRU
Shipyard	Motala	Motala	Finnboda
Speed, knots	10	10	10
Engine, hp	440	460	460
Gross tonnage	254	268	269
Length, m	31.45	31.53	31.66
Beam, m	6.68	6.73	6.79
Draught, m	2.72	2.72	2.72
No. of berths	55	55	55
No. of cabins	28	26	28



外国切手の場合には非常に有用である。言語的情報だけでなく視覚的な情報を加味できることがアルバム作成に力となってくれると感じている。前述したスウェーデン観光切手を調べてみると運河のこと以外に、図 12 のように切手に描かれた観光船 JUNO 号の詳しい内容文と映像までもが手に入れられる。目的によってはこれらもアルバム作成に利用できることになる。反面、情報を取捨選択し振り回されないようにしないと切手がすかしのようになってしまう。(図 13) アルバムは何にポイントをおいて編集するか、個人の好みであると考え。そのポイントをどのようにわかりやすく美しく表現できるかが重要なのであろう。老眼も工夫次第でかえって今までに見えていなかったものを私に気づかせてくれた。

今後も、ゆっくり時をかけ、老眼が老いた切手の美しさをたのしませてくれればうれしい限りである。



図 12 インターネットで得られた JUNO 号に関する情報の一部

インターネットで  
取得した情報を編集

スキャンした切  
手画像をシャド  
ウ効果で編集

インターネット  
で取得した画像

地図に運河の  
ルートを描く

切手実物

インターネットで取得  
した画像を地図サイズ  
に調整し文字を追加

地図帳より目的地域  
画像をスキャン

## GOTA CANAL(GOTA KANAL) 観光切手 1

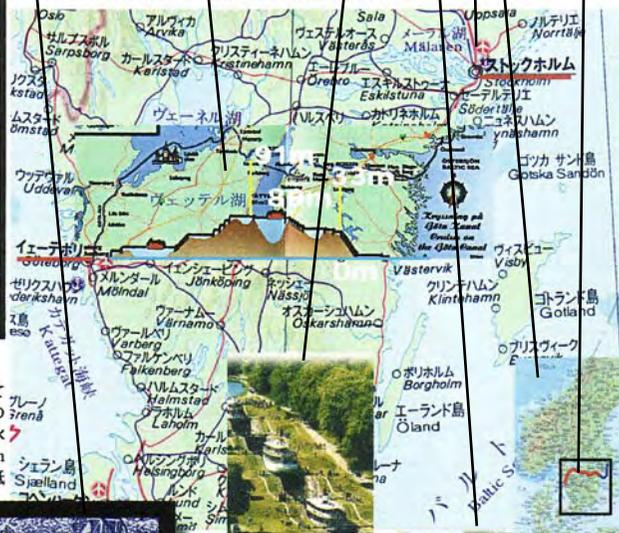


1979年5月7日発行 FACIT No.1082-1086 SCOT 1820-1825  
6種の連刷パーン 目打ち 12 3/4 各単色凹版印刷

上より川面に映える観光船 JUNO 号  
水門連なるブレンスフルト水門  
中左 ハイストロップの回転橋  
中右 リックスベルグの手动水門  
下左 ゴッドホーゲンを通る船  
下右 フォサピーク水門を出るカーヌー

ストックホルムとイエーテ  
ボリを結ぶ GOTA CANAL  
(ヨータ運河) 周辺の観光的  
な魅力を広報するための観光  
切手と位置付けられる。運河  
を主体としたデザインの手切  
6種からなる。

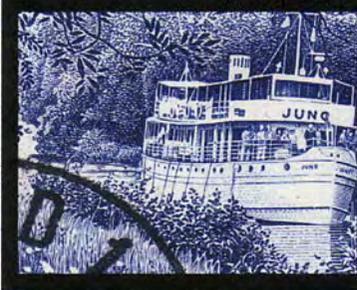
### GOTA CANAL の位置と高低差



### GOTA CANAL

日本ではヨータ運河航路と観光案内書に記されて  
いる。この運河はストックホルムとイエテボリ間の  
航路を短縮するため 1832 年に竣工した水門式の水  
運用運河である。川、湖を運河でつなぎ全長 386km  
あり、途中に開門 (LOCK) を 58 設け、91m の高低  
差を船の運行を可能  
にしている。1916 年  
に改装してより船の  
運航を円滑にした。

写真で示すように  
LOCK が 7.8 も 連なる  
場所があり、船の  
ひな壇をほうふつさ  
せる景観があり、途  
中には運河の下の高  
速道路を車が走ると  
いう場所もある。運  
河を中心に自然を親  
しむ環境が整備され、  
夏を中心に JUNO 号  
に代表される 3 隻の観光船が 2 泊から 6 泊のクルージングのコース  
を巡航している。JUNO 号は 1874 年 MOTALA で建造 1904  
年に改装、1956 年に 2 機のディーゼルエンジンが備えられた。  
JUNO は宿泊キャビンを持つ世界で最も古い船である。総トン  
数 254、巡航速度 10 ノット、客室 28、定員 55 人である。姉妹  
船 Wilhelm Tham,Diana と共に運河のクルージングに使用されて  
いる。



連続する水門を下る 3 隻の観光船



道路上に建設されている運河

### Slania の凹版の美しさ

この 6 種の切手は 6 人のデザイナーが描き、原画を著名な凹  
版彫刻家 Cz.Slania が彫ったものである。Slania はスウェー  
デン王室彫刻家の称号を持ち他国の切手も含め 1000 種  
以上の切手を彫っている。素晴らしい彼の彫刻を見る  
ため 右に 4 倍に拡大コピーしたものを示す。1mm に  
4 本の影りを入れる技能によって木の茂み、水に映える  
船影などが美しく表現されている。乗客が 11.2 名描かれ、  
男女もそれとなく判断できる。SLANIA が彫った凹版の素晴らしさ。

図 13 老眼が導いた切手アルバム の 1 ページ作成内容